

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		新潟県立大学		設置者名	公立大学法人新潟県立大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
国際地域学部	国際地域学科	160人	中一種免(英語)	平成21年度	—	—	—	—
			高一種免(英語)	平成21年度				
人間生活学部	子ども学科	40人	幼一種免	平成21年度	—	—	—	—
	健康栄養学科	40人	栄教一種免	平成21年度	—	—	—	—
入学定員合計		240人	合計		—	—	—	—
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成24年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成24年11月21日（水）

実地視察大学：新潟県立大学

実地視察委員：大坪治彦委員、渋谷治美委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程、教員組織等について全般的に教職課程基準を満たしている。
- まだ卒業生を輩出していないが、教員養成に関して積極的な取り組みを行っており、その成果が結果として現れることを期待する。
- 引き続き教員養成の水準の維持向上に努めること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 学科ごとに教員養成に係る明確な理念を持ち、その理念の具体化に向けた教職課程に係る教育課程編成が行われていた。ただし、全学的な組織としての「教職課程委員会」が設置されているものの、実質的には、当該委員会の下に置かれた各学科の組織が、教職課程を運営しており、各学科の取組が他学科と共有されていないように見受けられた。
各学科の有する資源・機能を教員養成に活用することは、教職課程の質の維持・向上に極めて有効であることから、今後、教職課程委員会を中心に、各学科に所属する教職を志す学生に対する学校現場体験の提供等の教職指導の充実に努めること。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、シラバスにおいて「含めることが必要な事項」が含まれていることが明確にわかるようにすること。
- 国際地域学部においては、教科に関する科目を担当する専任教員として、複数の外国人教員を配置しているほか、外国語を身近なものとするため、全学生が利用可能な語学学習支援施設であるセルフ・アクセス・センターを整備し、学生に対し、当該センターにおける英語学習を義務づけるなど、英語の専門性を高めるための特色

ある取組が行われている。

3. 教育実習の取組状況

○教育委員会と連携をし、近隣の学校を教育実習先として確保しているほか、全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○教職指導は、就職指導のみならず、学生が教職について理解を深め、教職への適性について考察するとともに、各科目の履修等を通して、主体的に教員として必要な資質能力を統合・形成していくことができるよう、教職課程の全期間を通じて大学が計画的・組織的に指導するものである。

このため、今後、履修カルテに基づき教職指導を行う場合等においては、履修履歴のみならず、例えば、学校ボランティア活動等の経験も含めて、教職を志す学生に対して指導が行われることを期待する。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○ボランティア活動については、教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後、教育委員会や学校とより一層の連携・協力体制を強化し、学生への機会の提供に努めること。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○図書館の設備、蔵書数が充実しており、評価できる。

7. その他特記事項

○特になし。